

12/20(水) 部落問題講演会

人権週間（12月4日～10日）は過ぎますが、富山解放連では記念企画として下記のように部落問題講演会を開催します。

昨年12月16日、「**現在もなお部落差別が存在する**」と明記した『**部落差別解消推進法**』が施行され、一年を迎えようとしています。

この法律は、“差別があるのか、ないのか”というような無用な議論に終止符をうち、「**部落差別のない社会を実現すること**」を目的とした点で画期的な意味をもっています。また、「**情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ**」「**部落差別は許されないものであるとの認識の下にこれを解消することが重要な課題**」であると明記している点にも大きな意味があると言えます。

今回の企画は、「推進法」制定の背景となった部落差別をめぐる現状に焦点をあて、最近の差別事件の特徴と今日的課題をテーマといたしました。

講師にお招きする片岡明幸さんは、部落解放同盟の狭山闘争本部長でもあり、さまざまな差別事件に関わっておられる方であり、現在、東京地裁で進行中の「全国部落調査」復刻版出版事件の裁判についても詳しくお話して頂けるものと思っております。

ご多忙の折とは存じますが、お誘い合わせの上、ご参加頂きますようお願いいたします。

日 時 2017年12月20日(水) 午後3時30分～5時00分
*受付は午後3:00～

会 場 富山東別院会館・研修ホール（富山市総曲輪 2-8-29 ☎076-421-9770）

会 費 1,000円（資料代）

演 題 『あいつぐ差別事件の特徴と今日的課題』

～「全国部落調査」復刻版出版事件裁判の経過と現状を中心に～』

講師 片岡 明幸 さん（部落解放同盟中央本部 副委員長）

主 催 部落解放にとりくむ富山県連絡会議

☆ 部落解放にとりくむ富山県連絡会議（略称：富山解放連）とは

富山県下で『部落解放にとりくむ各界・各層の広範な相互連絡を深めるとともに、協力関係を拡大・推進し、部落問題の速やかな解決を図る』ことを目的として、1986年3月に結成されました。被差別部落大衆をはじめとし、企業や宗教関係者、労働者、市民など幅広い層の団体・個人によって構成されています。結成以来31年、講演会・市民公開講座の開催や会報の発行などの取り組みを行ってきています。

☆ 会員になって下さい。会員加入を呼びかけて下さい。

団体、個人を問わず、会員加入を呼びかけています。年会費〔4月から翌年3月まで〕は1口1,000円で、団体にあつては5口以上、個人にあつては1口以上をお願いしています。

富山解放連事務局：富山市総曲輪 2-8-29 真宗大谷派富山教務所内 076-421-9770（松尾）